

会報 大ヶ谷戸こだなか

発行責任者 大ヶ谷戸小田中町会長 志村 勝
 編集 町会広報部
 印刷 (有)中溝グラフィック

『元氣・安心・私たちの町会』



町会長 志村 勝

町会の皆様、いつも町会の運営に協力をいただきありがとうございます。また、役員の方々も諸事業の推進、本当に苦勞さまで。総会も無事に終わり、新たな事業もスタートする事となりました。

本年度から町会の役員体制の拡充が図られました。特に、総務企画の役員さんについては三役の方々と一緒に町会全体の事業推進にあたっていただく事となります。あらゆる企画や取り組みをお願いしたいと思っております。また、活躍を期待したいと思います。また、婦人部の役員の方々も大幅に交替となり、苦勞お懸けすると思いますが、配慮よろしくお願ひ申し上げます。

さらに、広報誌の発行が年二回となり大変ご苦勞いただいている広報委員さんの皆様、本年は町会の広報掲示板の刷新新事業について検討取り組みをよろしくお願ひします。また、すみれ会の皆さんも

新しい体制で、二十一世紀地域社会の要としてすみれ会の活動が大きな波動を起すことについて期待します。町会挙げて皆さんの活動を応援して参ります。

併せて、今年の子供会と町会ではあらゆる面で、連携を取っていきたく考えます。町会の宝、未来を担う子供たち、町会役員一同しっかり活動を応援していきたく思っております。その他、祭礼、盆踊りをはじめ町会主催のスポーツ大会にもたくさんの方々のご参加をいただき楽しいイベントとしていきたく思っております。ですのでよろしくお願ひします。

本年も、町会として大きな節目の年になると思っております。それぞれの立場で、私たちの住むこの町をよりよくするための取り組みをすすめていきたいと思っております。ぜひ、皆様のご意見をお聞かせ下さい。多くの皆様のご意見を反映させ各種事業をすすめてまいりたいと思っております。

終わりに、会員の皆様の益々の健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

今年度の大ヶ谷戸小田中町総会は五月二七日、会館で行われた。会長は挨拶の中で、本年度は、〇総務企画委員を新たに設置し会の充実発展を図る。

〇スポーツ大会を楽しいものにするため、グラウンドゴルフの器具を購入したり、町民の多くの参加をよびかけていきたい。

〇掲示板を新設したり、取り替えたりし、町内会の活動をスムースにしていきたい。

〇会報を年二回発行し、町会の活動の様子を町民に分かるようにしていきたい。

〇その主旨にそった本年度の議題は、すべて満場一致で可決、温かい雰囲気の中で終了した。

議題の最後に、広報委員から会報第三号にのせられた座談会で話題になったことが、その後どのように進展されているのかの質問が出された。

会長からは次のような回答があった。

①民生委員の「町会ネットワークづくり」について
 現在町会には高齢者が八十名を数え、各部に一人の民生委員ではなかなか難しい問題も多い、町会でも共に協力し



大ヶ谷戸小田中町会総会 (町会会館)

総会に出席した人たちの思いは

子供会の活動
 『運動会を開催す』
 第三十三回子供会主催の運動会が五月二十日(日)晴天の中、大ヶ谷戸小学校において開催されました。
 十一の競技に子供達・ご父兄の皆様・役員がそれぞれの競技に元気に・楽しく参加頂きました。
 今回の子供さん達の参加率はまだまだ芳しくありませんでしたが、例年よりご父兄の多くの方達に参加いただき、ありがとうございました。



(パン食い競争を楽しむ子供達)

次回はもっと多くの子供さんの参加にご父兄のご協力をお願いいたします。

●今後の活動について
 今年度の活動計画については年間の活動計画に基づいて実施して参りますが、子供さん達が学校生活から離れて、友達同士との和を結ぶ場と成るよう、役員一同頑張っていくと思っております。

●次回の活動
 夏期行事として①ラジオ体操(NHKの朝の六時半からの放送に合わせ実施致します)。

②プール開放(大ヶ谷戸小学校のプール開放に伴い子供達の参加。以上は七月の予定でございます)。

各行事についてはその都度、各ご家庭にご案内状を配布させていただきますので、多くの子供さん達の参加をお待ちしております。

★子供会からのお願い★
 子供会では毎年年度初めに、役員を通じて子供会の入会を認させていただきます。まだ加入されておられない子供さん達がいらっしゃいます。

今年度の抱負！ 本年度の助成金をいただいて

【申込先】
 TEL 04417511207
 FAX 04417511209

小林会長のあと、会長という重責を引き受けることになりました。町会の役員の方々をはじめ、すみれ会のみな様の協力をお願いいたします。

昨年度は、町会より、貴重な助成金をいただき、主に次のような事業

婦人部の主な行事
 部長 齋藤 美代
 十三年度婦人部総会
 は、町会長を始めご来賓のご出席を戴き六月一日に行われました。

のことに思いますが、
 ◎八月四日(土)五日納涼盆おどり大会。練習日は追ってお知らせ致します。従来より町のゆかた揃えの音が高く、本年はご希望にお答えして新調する運びとなりました。お一人でも多くの方が購入され夏の夜を町会の交流の場として、仲良く、明るい街づくりの源としてお楽しみください。

◎九月十五日(土)敬老記念品お届け、七月上旬に自己申告の回覧が廻りますので、申し込み忘れのありませんように。
 ◎十月上旬観劇会(芸術座東宝現代喜劇 予定)ご期待。

をを行い、会員共に学び楽しむ親睦をはかってみました。
 ①万歩会で二ヶ領用水等々力緑地を歩く、それに常楽寺本堂の拝観
 ②神木等覚院を見学のと住職より法話を聞く。
 ③森林公園、あじさいの花の見学のための下見聞。
 ④その他、毎月例会、誕生会を開き、健康法や趣味などを語り合い共に親睦をはかる。など――

今年度は会費不足して三年目を迎え、さらに充実した役員に喜ばれる会にしたいものと役員一同考えています。その主なことは――

着実な歩み続ける すみれ会！

①市、区等連との関連を密にして、よい情報を参考にし充実した活動にしてゆく。
 ②会員の希望や意向を十分に取り入れて楽しい、しかも益のある運営につとめること。
 ③また町会との連携もはかりたい。新しい方のご参加を心からお待ちしています。

今年度は会費不足して三年目を迎え、さらに充実した役員に喜ばれる会にしたいものと役員一同考えています。その主なことは――

今年度は会費不足して三年目を迎え、さらに充実した役員に喜ばれる会にしたいものと役員一同考えています。その主なことは――



一よろしくお願ひします新役員一

今・地域の学校では その3

『大戸小学校編』



校長

木下 早苗

「大戸小学校の中にある珍しいものって何だろう」新しく始まった総合的な学習の時間に、子ども達が学校の中を探索してまわります。校長室にもそろそろと入って来て、ずらりと並んだ歴代校長の写真に目をとめました。ちよび髭の二代校長は人気NO.1次は、隣の初代校長「すいぶん古い写真だね」と感心しながら見ているうち

「水は水道から」今ではごくあたり前のことですが、この上小田中地区に水道が引かれたのは、昭和二年のことでした。その前は、「井戸水」を利用していました。また、「ほり」の水も使いました。写真のガードレールの左・コンクリートの下は「用水ほり」です。昭和五七年に、工事をし、コンクリートの用水となりましたが、それ以前は、ただの「ほり」で、農家の人たちにとってはなくてはならないほりでした。原富江さん(七十七才)は次のように話されました。「このほりの水で野菜を洗い風呂に水をくみ、とてもちよほうしました。当時(二二年頃)はどじょうもいましたし、水はきれいでした。」

に、写真の下に小さい字で昭和163(昭和21.7)と書かれていることに気が付きました。「だから今年でちょうど60歳になるんだよ。」などと話が弾みます。

結局、大戸小の一番珍しいものは、学校の敷地内にあるということだ。「ピンスケ稲荷」に決定。

子ども達の疑問もつきつぎにふくらんで早速メモ帳やビデオ、デジタルカメラを手に、地域のお年寄りをたずね取材活動の開始です。

「豆記者達は「ピンスケ稲荷は、大戸小学校ができる前からこの地にあり、建設工事のやり埋められてしまった。そ

れを掘り起こし、学校の隅にお社を建てお祭りした。今では、大戸小の子ども達の守り神として大事に祭られている。」と云うことと、ピンスケ稲荷も大戸小の歴史と共にあったということも素直に理解することができたようです。

この学習で作られたビデオは、教育テレビで放映していただきますが、子ども達の学習のし方も、最近はこのようになり、2002年からもっと沢山変わろうとしています。60歳を機に、地域の皆さんに、新しい学校の姿を見て

いただけるような、そんな60周年行事に取り組めたらいいなあと、今考えているところです。未長く大戸小を見守っていただきたいと思ひます。

一九九〇年(元禄三年)菅村野戸呂島に取り入れ口を設けました。しばらくして破損がはげしいため廃止され、享保の頃(一七〇〇年代)田中兵庫によって中野島取り入れ口が新設されました。

こうして、中野島・宿河原

地域・今昔あれこれ！

二ヶ領用水

二ヶ領村の耕地をうるおって来ました。ですから、二ヶ領用水は、市の農民の生命線であったといえます。

この用水は、最初宿河原村取り入り口から、多摩川の水を引きました。その後、多摩川ぞいに新田が開けたため、

の二つの取り入れ口から引水された用水は、久地村で合流し、ここに分量桶が設けられ溝の口堀組合・小杉堀組合・川崎堀組合・根方堀組合の村々に分水されました。さらにこれらの用水組合は、いくつもの堰をつくり、大切な水を分

子どもたちの姿

みんなでかかして守った稲。よい収穫です。

国連の学校…友だちの文化にふれたい！



耳をかたむけたい 町の人たちの声

自治会長としての雑感

桑野 弘道

本年四月から防衛庁宿舎の自治会長を勤めさせていただいており、大ヶ谷戸小田中町内会の皆様には大変お世話になっております。

転勤の多い職業で、これまで一年から二年おきに移動を繰り返して日本全国を転々としています。この中原(小田中)には平成八年から途中、九州での一年半を挟み、通算で約四年と、最も長く住んでいる場所となっています。

各地それぞれ良いところがあり「住めば都」という言葉がよく分かりますがここ中原は、等々力、多摩川等、緑が多く、平地のため自転車が多いというのが第一印象でした。また、町内とのふれあいも多く、子供会運動会、盆踊り、関神社祭礼、餅つきなど人情味あふれる行事に参加させていただいております。これまで同様にお付き合いいただきありがとうございます。

え、大谷戸小学校が出来、一部(三部)は大谷戸小学校へ、そして四部だけがが大戸小学校に通学するようになり、同じ子ども会でも通学する学校が違ってきました。

そのためか、四部から、子ども会に参加する希望者がほとんどいません。とても残念です。四部といえども同じ町会の子ども会です。子ども会にすすんで参加して、同じ町会の子どもたちと仲よく楽しい行事に参加してほしいと思ひます。

昨年、新しく生まれたマンション・ヒルズ武蔵中原の子ども達が、子ども会に入りました。わたしたちにとって、大きな喜びです。

今、子ども達の健康な遊びが少なくないといわれています。役員一同、子ども達がお互いに健全に成長することを願って努力していますので、多くの方の入会を期待しています。

最も安全で楽しいはずの学校が、一体どこに安全を求めたらよいでしょうか。

○その点、わたしたちの町の大戸小では、稲づくりを通して命の大切さを、また韓国の方々との交流をはかって平和の大切さを学んでいるという事は、喜ばしいことです。

編集後記

○会報「大谷戸こだな」第四号が刊行されましたので、お届けいたします。

○今回は町会の総会で満場一致で承認されました今年度の活動内容は、婦人部・子供会・すみれ会の活動内容が示されています。「元氣・安心の町づくり」にみんなで協力してゆきましょう。

○それにしても今回、大阪の学校で起きた事件は、理解に苦しむ悲しい出来事でした。

命も大切にしてください。



原富江さん宅前の用水あと

文責・石栗 正夫

○古代の賢人は「子供たちは神からの相続財産であり胎の実は神からの報いである」と、命は自分ひとりのものではありませぬ。自分の命も隣人の命も大切にしてください。

小田中に住む人々の声！

地域住人

新しい道路が出来る予定地のホンダバイク店の前の広場は若者達にとって格好の遊び場、また社交の場のように、夜ともなると、若者達が集まり、バイクの愛車を置いて、飲み、食べ、煙草を吸う。そして朝ともなると、若者達の去った跡は「飲み食べ吸った」残骸が見るも無残！片つけるのにひと苦勞。そこで新城駅前の交番にその旨をお話して定期的にパトロールをお願いしました。

すると、どうでしょう。パトロールが続けられ、今ではいつもきれいな広場となっています。住民の声や願いを聞き入れて、忙しいながらも町の安全を守ってくださいます警察の方々に心から感謝しています。